

通学路の交通安全対策と取り組みについて伺う

教育長/交通安全教育の充実と通学路の安全点検を行い交通安全に努める。



柴田 恭成 議員

防災・減災対策について

議員 近年自然災害が激甚化する傾向にあり、国では、東日本大震災の教訓を機に国土強靱化基本法が公布、施行されたが法の概要について伺う。

市長 この法律は、大規模自然災害時に人命を守り、被害が迅速に回復する国土経済社会システムを構築する為の措置について定められている。
議員 国土強靱化推進の為の、体制の早急な整備は地方公共団体の責務として求められているが、

国土強靱化地域計画は策定されたのか。

市長 早急な策定が必要と判断し、今定例会の補正予算に計上した。

議員 計画の策定で本市に、どのようなメリットが期待出来るのか。

市長 令和3年度以降、公共事業予算の削減の可能性が高く、今後、計画の策定が事業採択の要件となる事が予想され、本市で進めるには、具体的な事業名を計画に盛り込み訴えていくことが重要と考えている。

議員 この計画に盛り込んだ事業は、国の交付金や補助が優先的につくので、自主財源の少ない本市は、交付金や補助事業を活用する為にも地域計画を早急に策定すべき。

大人のひきこもり対策について

議員 昨今、80代の親が50代のひきこもりの子どもを養う、8050問題が深刻な社会問題と言われている、この問題について市長はいかがお考えか。

市長 40〜50代の、ひき

こもり者と70〜80代にさしかかり、精神的、経済的に限界を迎えている親の切実な問題と捉えている。少子高齢化の中で今後増加が予想され、市役所の各分野で横断的な連携を図り、社会からの孤立を解消出来る支援体制を築くことが必要だと考えている。

交通事故防止対策について

議員 交通事故対策として、通学路の路側帯や交差点などの危険箇所カラー舗装化についていかがお考えか。

市長 カラー舗装されている交差点を通過するときに注意するので、効果はあると思う。警察とも協議しながら進めていきたい。



カラー舗装道路



質問の様子を動画で見よう

農道の伐採時の安全対策について

市長/改善に向けた検討を行う。



井上 末喜 議員

農道の伐採について

議員 麦わら帽子で、ヘルメットをかぶっていないし、安全チョッキも着ていないので事故が心配だという声を聞いたが。

市長 ヘルメット及び安全チョッキの着用は、常日ごろから指導を行っているが、今回の指摘を受け改めて着用品の等も説明し、徹底を図った。

議員 立て看板が小さくて見づらいし、カーブの手前に立ててほしい。
市長 カーブを曲がった所にいきなり看板があつ

てもなかなか危ないと思う。改善に向けた検討を行う。

議員 指導員がいないので配置してほしい。

市長 現在4人1班体制で作業に従事している。安全な作業に向けて指導し、お互いコミュニケーションを進めていきたい。

原城へのシャトルバスについて

議員 シャトルバスの乗り場が分からないと聞くが。

地域振興部長 アンケートに分かりづらいという意見をいただいた。これをふまえて、バスの出発地の原城温泉「真砂」までの案内について、国道から「真砂」の駐車場までの数カ所に案内看板を設置した上で、交通誘導員や総合案内所の案内人が常駐をし対応している。

議員 ナビを入力すると旧道の道順が出て道幅が狭く困っているとの事だ

地域振興部長 カーナビ

開田公園の管理について

議員 駐車場に車が止まっていると、観光に来たバスが方向転換ができない。入り口の区画線を消して、車が駐車しないようにしてもらえば、方向転換も楽にできると思う。

建設部長 駐車場の修繕工事を発注している。それに合わせて白線の方を消すように実施したいと思っている。



開田公園



質問の様子を動画で見よう